

次の春、私たちは卒業する ——

懐かしい町・竹原で、あたたかな人たちに見守られながら成長していく少女たちの姿を描いてきたオリジナルアニメ「たまゆら」。今回は、元々親と親友たちが過ごす高校3年生の1年間を全4部作で描いていく、完結編「たまゆら〜卒業写真〜」の第2弾。スイーツ作りの道を選んできた岡崎のりえ。まだ、自分の夢を見つけられない境がある。かおるが入学目標を決めていく高校生活最後の夏、2人は……



S T O R Y

校内でも、卒業後の進路についての話題が増えてくる高校3年生の初夏。ある出来事をきっかけに、のりえが「スイーツ封印」を宣言。大好きなスイーツを食べたり作ったりするのを止めただけではなく、卒業後の進路も白紙に戻してしまいます。楓、かおる、麻音は、そんなのりえを心配しながらも、将来を左右することだからと何も言えずにいました。

一方、「お好み焼きはぼろ」の店主ちもから、4人にとあるイベントの内容を考えて欲しいとの依頼が、「私たち展」でも中心になってさまざまな企画を考えたかおるは、迷わず快諾。しかし、いまだに将来の目標が見つからないという進路についての迷いもあって、受験勉強とどっちつかずの状態になっていき……。



上映劇場にて同日より劇場限定版Blu-ray第2巻(数量限定生産)発売!

7,000円(税別)

■劇場限定版Blu-ray 特典

<「卒業式」優先参加or「第4部エンドクレジットお名前掲載(500名様)>抽選申込み券

※数量に限りがございます。※劇場限定版Blu-rayの購入には、劇場限定版の抽選が必要となります。※購入は、数量限定につき、Blu-ray2巻までとさせていただきます。
※「卒業式」or「第4部エンドクレジットお名前掲載」の応募は第1〜4巻「エンドクレジット」は第3巻までで加入されている申込み抽選が必要となります。
※劇場限定版Blu-rayは、一部の上映劇場での販売です。※詳細は公式サイトページをご覧ください。

佐藤順一監督インタビュー



この「卒業写真」は、楓、かおる、のりえ、麻音たちのそれぞれの夢の行く先を追いかけていくシリーズ。第1部の「芽-きざし-」では、これまでカメラが好きとは言ってきたけれど、将来の仕事にするかどうかまでは決めていない楓がしっかりと目標を定めることがひとつの到達点でした。やはり作品全体の主役は楓ですからね。まずは、楓の夢が決まらないと、他の子の夢も語れないだろうと思ったので、最初に楓に腹をくっつけていただきました(笑)。

「第2部 誓-ひびき-」では、かおるとのりえが自分の夢の行き先を捕まえようとしていく話。のりえは、スイーツを作ると言い続けていますが、将来の夢としては漠然としていますし、かおるに至っては、匂いに敏感ということぐらいしか語られてきてないですからね(笑)。彼女たちがどんな選択をするのかはちょっと面白いところで、第2部の一巻の見どころになっていくと思います。のりえも意外と真面目なところを見せますよ(笑)。そして、かおるがどういった道を目指していくのかについては、スタッフの間でも議論になりました。最終的に「これはたしかに、かおるに向いているかも」というところにきちんと着地していくので、それを見届けていただきたいなと思います。2人の子ども時代のことにも触れますし、「知らなかったけれど、そういうことがあったのか!」といったエピソードも見られます。かおるとのりえをさらに知る意味でも、良い感じの話だと思いますので、ぜひ上映開始を楽しみにしてください。



この「卒業写真」では、キャラクターデザインの飯塚晴子さんがメインキャラクターのデザインを新たに作ってくれています。総作画監督としてもガッツリと絵を直してくれているので、さらに進化した今の飯塚さんの絵で「たまゆら」を観ている感じがして良いですね。楓は設定画で観たときも高校3年生になって、子どもから大人になっていく感じなんだと感じていたのですが、実際に映像として動いているのを見て、より大人にな

っている感じが出ていると思いました。背景美術に関しては元々クオリティも高いですし、劇場だからといってそこまで大きな変化はありません。しかし、テレビ画面で観ると、大きなスクリーンで観るとでは臨場感が違うと思います。ファンの方にはおなじみの場所ばかりにはなりますが、スクリーンでご覧いただくことで、改めて竹原の町の魅力が伝われば良いなと思います。

